

昭和51年9月7日第3種郵便物認可（毎月6回1、5、11、15、21、25の日発行）
令和3年4月25日発行 OTK 増刊通巻第5476号

OTK 2021年4月
(No.96) ニュース

わだち

ベーチェット病友の会

事務局 〒 大阪府東大阪市 遠田方
TEL 本部mail : t4492a@sky.plala.or.jp

第42回ベーチェット病友の会全国総会・医療講演会

申し込み状況（2021.4.20 現在） 5月10日まで申し込みを受け付けます。

2021年5月30日（日）13：30～Zoomによる開催

参加申し込み 30名参加

オンライン26名・岡山会場4名

Zoomにて開催します。事前練習にご参加ください。

総会資料も今回のわだちに掲載しています。ご質問等ございましたら
事前にお知らせいただくと幸いです。

医療講演会もお楽しみにしてください。

「コロナ時代のベーチェット病診療」

岡山大学病院 リウマチ膠原病内科 松本 佳則 先生

わだちニュース 目次

巻頭言	3
第42回ベーチェット病友の会全国総会・医療講演会 オンライン事前練習について	4
総会議案 活動報告	6
決算書	9
活動方針	10
予算案	11
寄付・署名募金者	12
メモ	13
ベーチェット病と言われてホッとした話	14
2020年度電話相談状況	17
島根県防災ヘリコプターによる 救助訓練に参加しました	21
ベーチェット病患者サミット	25
支部連絡先のご案内	26
編集後記	28

ホームページのトピックス欄には、最新情報を掲載しています。

[ベーチェット病友の会公式ウェブサイト \(behcets-jp.net\)](https://www.behcets-jp.net)

<https://www.behcets-jp.net/>

入会申し込みもできるようになりました。お知り合いにご紹介ください。



巻頭言

1月17日に、埼玉県支部の石井さんより、「埼玉県の家を片付け東京の娘と同居することになった。そのため支部を解散することになった。残った20万円を本部に寄付したい」という話がありました。

今回の総会はオンライン会議でやります。コロナの患者が少ない岡山でお願いしたのですが、岡山もだんだんと患者数がふえてきています。さてどうなりますことやら。

去年は総会を見送りました。去年から見たら、オンラインで総会ができるなんて考えられないことです。会場に集まる方とオンラインの方と、二通りの参加になりますが、会場で、そして画面を通して、皆さんのお元気な姿を拝見したいと思っています。

大阪の感染者数が東京を抜く、コロナの変異株は若者や子どもにも症状が出て重症化する割合も高いなど、予想しなかったことが次々と起こっています。スーパーのレジも、間隔をあけて待つ、セルフ清算がふえるなど、世の中がだんだんと変わってきました。コロナが終息するころには、世の中どうなっているのかなあと考えさせられます。

支部長会議もオンラインでできているので、交通費が不要になり、会費もたまってきています。思いもかけなかったことです。どんな世の中になっていくのか、これからが楽しみです。

遠田 記

第42回ベアチエット病友の会全国総会・医療講演会
オンライン開催 事前練習について

Zoom 事前練習

5月16日（日）15:00～16:00

練習用 ID <https://bit.ly/3dZPzZg> (短縮 URL ↓ QR コード)

ミーティング ID: 5544 1111 22

パスコード: 123456



(該当時間にアクセスできない方はメール・電話にてご相談ください)

上記の URL を開くまたは QR コードを読み取る方法と
Web ブラウザで参加する方法があります。

カメラ・マイク・スピーカーなどが接続された状態で
事前練習・総会に Zoom 参加ください。

Zoom ではカメラを開始・停止する などショートカットキーが割り当てられて
います。下記のページを検索して参照ください。

[ホットキーとキーボードショートカット - Zoom ヘルプセンター](#)

- **Alt+V**: ビデオを開始/停止する
- **Alt+A**: オーディオをミュート/ミュート解除する

Webブラウザで参加する

1. パソコン・スマホなどから
任意のブラウザ（Chrome、Safari、IE/Edge、
Firefox）を開きます
2. <https://zoom.us/>
にアクセスします。
3. 画面右上の「ミーティングに参加する」を
クリックします。
4. 次にミーティング ID： 5544 1111 22 を
入力します。
5. [参加]をクリックします。



総会議案書

活動報告 令和2年度、コロナ禍の活動は以下の通りです。

①機関誌を5回送付しました。

☆4月号は総会中止と議案

新型コロナウイルス感染防止のため、総会と医療講演・相談会を中止することをお伝えし総会の議案を提示しました。

☆6月号は、受給者証の有効期間の延長、現時点でのベーチェット病と新型コロナウイルス感染症の関連についての情報、また、アツヴィ合同会社のアートプロジェクトについてお知らせしました。

☆9月号は岳野先生が研究班の班長になったお知らせ

☆1月号は、10月31日に開催した研究班の先生方と友の会役員等によるオンライン交流会について報告しました。また、参加者の感想、研究班会議の抄録集、そして、岡山大学の松本佳則先生からの「コロナ禍でのベーチェット病治療」の情報などを掲載しました。

・盲導犬空を飛ぶの記事が好評でした。

☆3月号は2021年のオンライン総会案内

②総会

2020年5月10日に総会を予定していましたが、コロナ感染のため集まれなくなりました。

機関誌4月号に提示した2019年度活動報告、2020年度活動方針・予算については、会員からの異議、意見がなかったため、承認されたものとみなされました。

③支部長会議

オンラインで1月31日、2月11日、3月21日の3回開催しました。

各支部の状況、機関誌「わだち」の掲載記事、総会開催の仕方、ホームページの充実、製薬会社との協力体制、研究班会議への参加などについて、話し合いをしました。

④会計

業務をB型作業所に委託しました。

⑤入会

患者さんから電話相談を受けて3人、ホームページから1人入会されました。しかし、住所不明で「わだち」が戻ってきた会員さんが20数名おられたので、会員名簿から削除しました。

⑥ホームページ

友の会本部ホームページの機能を強化しました。その結果、暗号化によるセキュリティの強化と資料室の新設により機関誌など資料の保管、公開が可能となりました。

6月にはホームページ上でベーチェット病と新型コロナウイルス感染症に関する情報を広く一般の方々へ公開しました。また新刊の「わだち」は会員限定で順次公開し閲覧の利便性向上に努めました。一方リアルタイムの情報発信は十分行うことができませんでした。

⑦埼玉県支部が解散し、20万円寄付していただきました。

⑧製薬会社

製薬会社主催のアートプロジェクトを周知して、出展を呼びかけました。友の会からも審査員を選出しました。

⑨国会請願

友の会は日本難病・疾病団体協議会（JPA）に加入しています。JPA による国会請願に友の会も参画し、請願に必要な署名と募金は、友の会会員の方々に協力していただきました。

⑩研究班患者 交流会の開催

10月3日に開催されたベーチェット病研究班の定期会議には、本年度は友の会会員は参加しませんでした。後日10月31日に、研究班の先生方と友の会役員等でオンラインによる交流会を開催していただきました。

2020年度（令和2年度）決算書

ベテネット病友の会2020年度（令和2年度）決算書
（2020年4月1日～2021年3月31日）

収入の部	予算額	決算額	備考
会費（支部）	450,000	375,000	2500×延べ150人
会費（直納）	400,000	372,500	2500×延べ149人
会費（賛助）	70,000	48,000	田辺三菱 アムジェン 個人2人
寄付金	200,000	232,500	
国会請願	20,000	53,500	
雑収入	0	10,509	栃木県支部「わだち91号」分 利息9円
計	1,140,000	1,092,009	
前年度繰越金	2,971,210	2,971,210	
合計	4,111,210	4,063,219	

支出の部	予算額	決算額	備考
広報費	700,000	363,495	わだち5回発行 印刷費・郵送料・編集費
総会費	0	0	
会議費	250,000	62,100	zoom有料会員費 支部長会運営準備など
事務諸費	200,000	169,180	会計事務委託費等
通信費	50,000	47,666	会費請求等
消耗品費	10,000	27,051	PCインク代等
諸会費	250,000	20,152	JPA会費等
国会請願	10,000	29,402	JPAへ請願募金28,250 説明文コピー等1,152
雑費	5,000	9,460	振込通知書手数料
予備費	200,000	0	
計	1,675,000	728,506	
次年度繰越金	2,436,210	3,334,713	
合計	4,111,210	4,063,219	

会計監査の結果、帳簿、領収書等正確かつ適正に処理され、相違ないことを確認しました。

2021年4月6日

会計監査

藤井英雄 

会計監査

馬場光一 

活動方針

令和3年度、活動方針は以下の通りです。

①総会

2021年度の総会は、岡山市のきらめきプラザ岡山を会場にして、5月30日にオンラインで開催します。総会后、岡山大学病院の松本佳則先生に医療講演をしていただき、医療相談会も行います。

②支部長会議

集まることが大変なので、随時オンラインでしていきたい。

③ベーチェット病患者サミット

アムジェン(株)、日本ベーチェット病学会そして友の会の共催で、「ベーチェット病患者サミット」を開催します。このサミットは、製薬会社とベーチェット病学会からのご提案とご支援で開催できるようになりました。

④10月に研究班のオンライン会議が開かれる予定ですが、患者会も研究班と協力して参加していきたい。

⑤機関誌を年4回以上、情勢に合わせて発行し、会員の交流を図ります。

2021年度（令和3年度）予算案

パーチェット病友の会2021年度（令和3年度）予算案
 (2021年4月1日～2022年3月31日)

収入の部	決算額	予算額	備考
会費（支部）	375,000	375,000	2500×150人
会費（直納）	372,500	375,000	2500円×150人
会費（賛助）	48,000	80,000	田辺三菱 アムジェン アッヴィ 個人
寄付金	232,500	100,000	
国会請願	53,500	50,000	
雑収入	10509	0	
広告料	0	100000	
計	1,092,009	1,080,000	
前年度繰越金	2,971,210	3,334,713	
合計	4,063,219	4,414,713	

支出の部	決算額	予算額	備考
広報費	363,495	450,000	わだち6回発行経費
総会費	0	200,000	会場費、交通費等
会議費	62,100	100,000	
事務諸費	169,180	200,000	
通信費	47,666	50,000	
消耗品費	27,051	25,000	
諸会費	20,152	220,000	JPA会費・出席交通費 研究会会議参加交通費
国会請願	29,402	30,000	
雑費	9,460	10,000	
予備費	0	0	
計	728,506	1,285,000	
次年度繰越金	3,334,713	3,129,713	
合計	4,063,219	4,414,713	

寄付・署名募金者

令和2年4月～令和3年3月までにご寄付・署名募金を頂いた方々にお礼申し上げます。

ここに、ご氏名を敬称略、順不同で掲載させていただきます。

皆様方の温かいご支援により友の会は運営されております。

今後とも、友の会活動に邁進してまいります。ありがとうございました。

赤松雄二郎	小関陽一	徳永明美	松崎滋
池田智子	小濃尚美（日出男）	西村勝弘	松本悦子
池田高信	近藤孝広	林優	右田捷明
石井陵子	澤田昇	原尾多津枝	三橋陽子
板倉清雄	市東美代子	反中義一	森田義則
浦川泰助	柴田文雄	平石勝之	森ひろみ
尾藤純	島村恵美子	平野美津代	八木紀子
角頼里美	杉本洋子	藤井英雄	米沢輝美
河内久美子	杉谷すみ代	藤田力	我妻廣子
河村キワ	鈴木令子	舟橋正雄	渡邊一字
金城利信	武内壽美子	紅林榮一	

埼玉県支部の解散により残金をご寄付いただきました。

ありがとうございました。

<memo>

ベーチェット病と言われてホッとした話

大阪府支部 馬場光一

(1) おかしい話です。世間の相場とは真逆ですが、私はベーチェット病と診断受けホッしました。1973年12月のことです。

それまでの私はといえば、その1年以上前から、多分に「怠け者」と思われていたようです。そらそうです、朝は起きられず大幅遅刻、しかもそれが3日に一度くらい。行ったとしても発熱で仕事が手につかない。ついつい家にこもりがち。

落ち込む心。皆から自分はどない思われているのか。そして自責の念。すでに結婚しており、子供もいるのに何も出来ないもどかしさ。全部を押し付けた妻への申し訳なさ。そんなこんなで、毎日が本当につらい思いの連続でした。

そうした時でした。通院していた病院の主治医から、「あなたはベーチェット病です」と診断を受けたのです。驚きとともに、いやそれ以上に気持ちのつらさが吹き飛びました。「俺は怠け者じゃなかったんだ、病気だったんだ！」この時の感激は今も忘れません。その先生は、私の衝撃を何としても薄くせんと、あれこれお話しいただきました。これから先どうなるか、覚悟を迫られました。しかし、そのお話しとは裏腹に、何か嬉しさが込み上げてくるのを抑えられなかったのを、昨日のように覚えています。



(2) それから入院生活がはじまります。今とは違い、その頃は入院期間に制限がなかった。ですから、薬にしても何が効くか、じっくり時間をかけて色々試し試しでやったり出来ました。これが、非常によかったのではと思います。自分でも納得した上での薬ですから、のみわすれることはない。この薬と、週1の検査結

果は、自分のノートに書くようにしました。

私は完全型で神経型です。眼症状は、ブドウ膜炎と眼底出血が主症状で、月1度の眼注をおよそ1年続けました。Drの「目を開けてエー」の掛け声とともに、眼前に迫ってくる注射針は忘れられません。また神経型ということから、歩行困難に加えて、後頭部のしびれ、口が閉じられずに涎の垂れ流し、それに話すのがうまくいかないことも忘れられません。これらの症状を、日記として書き綴りました。そうすると、いっかなベーチェット病といえども症状の出方に波があること、ここまでならやっても大丈夫と確信が持てるようになり、症状も軽快していききました。

(3)入院生活は、食事への注意と身体を動かすことに務めました。

食事では、今ではとても無理な一口30回噛みを実行しました。こうすることで、体重を落とし(当時は肥満体でした)、唾を出して消化を良くするように務めました。肥満の上の便秘症で何かと不自由だったのが、ずいぶん改善できました。

身体を動かすことがどうしても制限される入院生活では、自分で生活改善することがプラスになるようです。この入院生活では、ベッドの上での柔軟体操もやり、ついには先生の前で先生も出来ない前屈が出来ました。ビックリされる先生のご想像あれ！



(4)そんな入院生活が闘病に大いに役立つことは間違いありませんが、それを許していただいた主治医にも感謝感謝です。某有名大学出身なのに陰で「藪医竹庵」(やぶいちくあん)先生の異名。が、なんのなんの、名医です。その証拠に、一度は、「失明、寝たきり」と宣告された私がここまで回復しているんですもの。勿論、医療保険がバッチリしていたことが背景にあるのですが、この先生に依るところ大です。後日、私が「薬を止めます」と言い出した時も、激怒されながら

肯んじていただきました。

(5) そんなこんなでしたが、ベーチェット病と言われて腑に落ちたのは確かです。そこにいくまでの辛さは、今でもごくたまとは言え夢に出てくるほどです。

こんなベーチェット病ですが、ひょっとしたら渦中のコロナに有効?とも思います。と言いますのも、ベーチェット病は自己免疫が過剰に働き発症すると思われるからです。もしそんなことがあり得るとすれば、ベーチェット病患者がコロナ禍で感染予防の土嚢になるのもいいなと思う今日この頃です。



2020年度 電話相談状況
2020/4/1～2021/3/31

ピアサポーター
秋山 悦子

相談者内訳 (人)			相談者地域 (人)	
男性	女性	計	千葉	5
8	21	29	埼玉	1
			東京	1
年代別 (人)			神奈川	2
30代	2		石川	2
40代	5		静岡	9
50代	6		愛知	3
60代	9		岐阜	1
70代	5		大阪	4
80代	2		大分	1
計		29	計	29

主な相談内容 (件数)	
医療機関・医師の情報 セカンドオピニオン含	14
病状	20
治療薬等	11
公費助成・申請	3
障害・介護について	2
就労	1
日常生活	2
精神的な相談	3
患者会・講演会等の	2
コロナ関連	5
その他	2
延べ件数計	65

◆ 相談事例

① Kさん (千葉) 女性 64才 

A. 白内障を手術したが、状態が良くない。(緑内障あるといわれた)

もっと早く手術すればよかったともいわれ落ち込んでいる。

B. 特定疾患受給者証更新時の診断書はどこに書いていただいたらよいか？

(主治医は東京/JCOMの眼科医で手術した医師は地元の眼科医)

【対応】A. 手術してまだ1週間とのこと。見え方も徐々に良くなっていく可能性もあるの
であまり心配しないように。(来月にもう片方を手術予定。)

B. 新型コロナウイルスが怖いので、地元の先生に書いてもらいたいということを
保健所に電話で問い合わせをしてみたらどうかと伝えた。

② Sさん (大分) 女性 53才 

口内炎・結節性紅斑・眼症状があり皮膚科で検査結果 HLA-B51 の数値が高く、不全型

⑤ Kさん (大阪) 女性 69才 

交通事故と申請書の件

今年の特典疾患の申請は特別措置で継続となったが、先日交通事故に合い眼を怪我してしまった。パーチェット病で診ていただいている眼科で治療。

相手側保険会社より治療費の請求をするようにと受診した病院に電話があり、その病院より、今回の治療費を保険会社に請求すると、特典疾患申請書は書けなと言われた。

そんなことがあるのか？

【対応】 (詳しい事情が分からないので)受診した病院に書けない理由と、納得いかなければ、地区の保健所に問い合わせをしたらよいかと助言。

⑥ Kさん (名古屋) 男 50才 

妻より、夫 50才 (ポスニア人/研究職/パーチェット病の疑い) の相談。

6, 7年前から様々な症状が出るも、そのたびに近くの開業医へかかっていたが、最近血便や下肢に紅斑が出現。また、精神状態も異常ではないかと思われることがある。本人が文献で調べたら、全てパーチェット病の症状だと確認。しっかりとした病院に掛かり診断を仰ぎたい。

名古屋市内でパーチェット病を診てくれる病院はあるか？

神経型も懸念しているので専門医に一度見ていただきたいと思っているが、遠くの病院へは行けないので愛知県内を希望。

【対応】 特に目の症状が出てきているということで早急に受診 (消化器科・眼科・皮膚科・膠原病内科) することを勧めた。

病院としては名古屋市立大病院消化器内科の谷田医師が腸管パーチェット病患者を多く診察しているので、情報として伝え、神経パーチェットに関しては、やはり神経内科でしっかりと検査・診断をしていただき、神経型パーチェット病ならばセカンドオピニオンも考えてみたらとお話した。計3回の電話。

名市大病院のほか、他の病院・医師の情報を提供した。

(愛知県事務局の森田さんに情報等ご協力していただいた。)

⑦ Yさん (静岡) 男性 31才 

母親より相談

10年前よりレミケード治療をしているが、担当医から治療薬(ヒュミラ)の切り替えを勧められその準備段階として検査等をおこなっている間に視力や視野が狭くなるなど症状が出てきた。親としてとても心配しているのだが本人はあまり頓着がなくこのまま失明してしまうのではと。

【対応】 レミケード治療始めたところからの相談者で、現在は家庭を持ち子供もいるので

母親はとても心配している。セカンドオピニオンも考えているとのことなので、もう一度、息子さんとお話してセカンドオピニオンを希望されるならまた、連絡をいただきたい旨お返事した。(3月に相談を受けたがその後連絡はない)

匿名希望 (大阪) 女性 82才

主治医が2か月前に替わり、全身の痛みを訴えても顔くだけで何もしてくれない。まだ若く、ベーチェット病は詳しくないようで、毎日痛みで辛い。近隣でベーチェット病を診られる医師(膠原病内科医)に代わりたいがので、情報が欲しい。

【対応】痛み止めも出さず検査もしない。医師の診察がおざなりだと訴える。

大阪近隣では友の会会長の遠田さんが医師に関しては詳しいと思うので、そちらに連絡をし、情報をいただいてほしい旨話した。



～ 担当医との疎通ができない患者さんの相談も何件もあり。～

担当医と患者の関係は上手くいけばよいのですが、一度拗れるとなかなか厄介な問題。よい関係を築くには患者側も考えなければならないかと思います。

ある医師が「上手な医者への掛かり方」という講演会で「医者というものはプライドが高い方が多い。そのプライドにチクリと針を刺さぬよう」。つまり半端な医療知識での質問や、口調、医師の言ったことに対する否定的な態度等を挙げていました。

私たち患者は難病が故に心配のあまり、つい、突っ込んだ質問などしてしまいがちです。お医者様にも患者の気持ちを理解していただき、患者と向かい合っていただければと思います。

～ コロナ関連の相談として ～

- ・ 高齢なのでワクチン接種を躊躇している。
- ・ 接種による副症状が心配。
- ・ 現在、レミケード治療中。マスコミ等で「アクテムラ」が有効との報道があり、もし感染した場合使えるのか？
- ・ ワクチン接種について県に相談するも、最終的には本人が決めることと言われ迷っている。



皆さんベーチェット病という基礎疾患を持っているので、ワクチン接種に関しては主治医とよく相談の上決められたら良いかと。

このコロナ禍が一日でも早く落ち着くことを願うばかりです。

島根県防災ヘリコプター（はくちょう）による救助訓練に参加しました

わだち94号で「盲導犬空を飛ぶ」の記事を掲載しました。
松江市でも盲導犬と一緒に防災訓練があり、三輪利春さんが体験談を送っていただきました。



補助犬 ↑イメージは↓下記ページより参照ください。

厚生労働省ホームページ > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護
> 障害者福祉 > 身体障害者補助犬

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougai-shahukushi/hojoken/index.html

皆さまこんにちは

令和3年1月21日（木）に島根県防災ヘリコプター（はくちょう）による補助犬を使用する身体障がい者救助訓練に参加しました。

島根県防災航空隊では補助犬を使用する身体障がい者の防災ヘリコプターによる救助方法について検討しており、この度、運用に向け日本盲導犬協会の協力を得て、令和3年1月21日(木)に実機による吊り上げ救助訓練が行われました。会場は島根県消防学校でした。

風とか天候を心配していましたが、お日様が顔を出して割と暖かくなりました。

外部からの参加者はこの度の協力者、日本盲導犬協会から3名。訓練犬1頭、PR犬1頭、ユーザー2名と盲導犬2頭、近くの点字図書館から2名、県障がい者福祉課から1名。天気が良くてわりと暖かく良かったです。ヘリコプターが降りたり上がったりしますので、そのときは風も強く寒く感じました。

訓練開始前、訓練の目的や訓練で使う用具の説明がありました。
人に付ける装置や盲導犬に付ける装置（ハーネス）など。

隊員のかたの声による指示にしたがい、右手を出して、左手を出して、背中には逆三角形の防護服？。足を開いてまたの間に落下防止の強い20センチ幅の生地？が出ていて、その器具は胸近くまで来ています。

生地と書きましたが、先はバンドのような物で金具が着いてます。両肩から出て来る金具に止められます。

両肩から出てくる金具と下から出て来る物に金具で止めるような感じになりました。

ヘリコプターから降ろされるワイヤーに取り付ける金具となっています。

人のほうも背中の方はチョッキのような物で、おしりからまたをくぐって胸当たりで取り付けるような物でした。

うまく説明できません。

盲導犬をつり下げるための器具は落下することのないように強力なナスカンをつけることができるチョッキのようなものを付け、ヘリコプターから降りてくるワイヤーでつり上げられるそうです。

アメリカ製で軍用犬などで使われているものだそうです。

犬には口輪を取り付けられました。いやがる子もいますが、てきぱきと隊員さんたちが取り付けられました。

ユーザーが準備が終えたら、しゃがんで足を延ばします。足のモモの上に盲導犬の腹をのせるようにして、盲導犬の前足と後ろ足を動かないように手で支えたような感じです。

リフトのワイヤーを両者に付けて、ワイヤーが引っ張られ少しずつ人も犬も持ち上げられて行きます。隊員さんも前の方から盲導犬を持ちながら一緒にヘリコプターのドアのほうに近づいてゆきます。

スムーズにヘリコプターの中に入りました。

盲導犬に付けられたワイヤーと人に付けられたワイヤー少し隙間が在り、足に体重はほとんどかかりませんでした。

ヘリコプターから出ているワイヤーをつり上げられたら、スキーのリフトに乗ったような感じでした。

私達ユーザーや、アイマスクを付けて PR 犬や訓練犬を点字図書館さんも体験されました。

が、私達は停止してエンジンを切っているヘリコプターに近距離からリフトにつり上げられて機内に入りました。

ですので、1メートルつり上げられてヘリコプターのドアの中に直接入った感じでした。

隊員のかたも本番そのもので、緊張感が漂っています。

その都度てきぱきとした指導と声により誘導していただきました。私達は停まっているヘリコプターの中まで助け出される訓練でした。

またヘリコプターの機内に入ったらアランに付けている金具(犬も人もハーネスと呼ばれます。)



アランに付けているハーネスの20センチくらい出ている金具、ここを持って少し待っててくださいと言われました。

犬の救助用のハーネスの20センチほどのバンドの先に金具が着いていますが、そこを持ってアランはダウンして左側に一緒に待機しました。そこを持っているだけでも、お互い安心しました。

また、訓練犬とPR犬はその金具を使って20メートル上空のヘリコプターにつり上げてヘリコプターの中に救助される訓練をしました。

ヘリコプターはつり上げられたら、5分?近くを一周してこられ、着地して訓練犬を降ろされました。

降ろされたらまた上空に上がり、ぐるっと回ってこられ、次に乗る子の準備が終了したら、ヘリコプターが現地に到着し犬を安全にヘリコプターに救助する訓練を3度開催されました。

訓練に参加して隊員の皆さんが私達に声で次の行動をてきぱきと出してくださいに安心し、とても頼もしく思いました。

ベーチェット病患者サミット

～WHTH コロナの時代に、私たちにできること～ 開催のご案内

アムジェン(株)から、患者サミットのご提案がありました。研究班の先生方も協力していただきます。友の会も加わり、日本ベーチェット病学会・ベーチェット病友の会・アムジェン株式会社の共催で開催します。

2021年7月17日(土) 午後3時～5時

<https://behcets-partners.jp/event/bdsummit2021.html>



プログラムは下記の通りです。事前に質問を受け付けています。

質問のある方は、遠田会長へメールやファクスで連絡してください。

パネルディスカッションは、事前に届いた質問に答える形で進められます。4月末までに届いた質問はスライドに反映されます。それ以降の質問は、口頭での説明になります。オンラインサミットです。

Zoom はスマホでもタブレットでもできます。友の会では、皆さんが気軽に参加できるように事前にオンラインの講習会をする予定です。

開会の辞 水木信久先生

講演1 「ベーチェット病の最新知見」(治療)

・内科的アプローチ 廣畑俊成先生

・眼科的アプローチ 竹内正樹先生

講演2 「ベーチェット病と COVID-19 について」

桐野洋平先生

パネルディスカッション

司会：岳野光洋先生

パネリスト：

・水木信久先生・桐野洋平先生

・竹内正樹先生・廣畑俊成先生 (順不同)

閉会の辞 岳野光洋先生

支部連絡先のご案内 10支部

支部名	代表者氏名	住所・Eメール	電話
山形県	支部長 小関陽一	〒 山形県鶴岡市 koseki.yoichi@gmail.com	☎ FAX 携帯
宮城県	支部長 赤松雄二郎	〒 仙台市 Wd822822@sd6.so-net.ne.jp	☎ 携帯
栃木県	支部長 福田 悟	〒 宇都宮市 bt-tochig@kuroreo.sakura.ne.jp	携帯
	窓口担当 渡辺 正一	〒 宇都宮市 s.watanabe@nifty.com	☎
富山県	支部長 河合 喜久	〒 南砺市 kawai2810@gmail.com	☎
大阪府	支部長 遠田日出子	〒 東大阪市 t4492a@sky.plala.or.jp	携帯 FAX
京都府	会長 曾根 隆	〒 京都市	携帯
岡山県	支部長 芦田 徹	〒 倉敷市	☎
	窓口担当 坂本真由美	〒 岡山市	be.oka.3939@gmail.com

山口県	支部長 藤井 英雄	〒 柳井市 fuji06@hi2.enjoy.ne.jp	☎ 携帯
香川県	支部長 多田加代子	〒 香川県観音寺市 asuyoutoyo314ab@gmail.com	☎
長崎県	支部長 荒木 茂則	〒 長崎市	☎

関係連絡先

福島県	小野寺 猛	〒 郡山市	☎・FAX
石川県	米田 明三	〒 金沢市	☎ FAX
愛知県	森田 ゆかり	〒 岡崎市	☎・FAX
広島県	江田 保正	〒 東広島市	☎

同好会

ベーチェット (サン・フラワー) 静岡	代表 原川忠彦		
	連絡先 秋山 悦子		携帯
茨城県	代表 蛭田 悦子	〒 日立市	☎
	諸岡 文子	〒 土浦市 mero-1016@jcom.home.ne.jp	携帯



